

北陸電力 45%値上げ申請

来春から家庭向け規制料金

一般家庭で広く契約されている「規制料金」について、北陸電力が30日、来年4月に平均45・84%値上げする計画を経済産業省に出した。大手電力では最大の値上げ幅となる。規制料金の値上げが認められれば1980年以来で、値上げ幅も70年代の2度の石油危機

後に次ぐ。

松田光司社長は記者会見し、「燃料価格が早期に回復する見通しが立たない。値上げせずに経営効率化や企業努力だけではいかんともしがたい」と述べ、値上げに理解を求めた。

同社によると、北陸3県の一般家庭約115万件のうち、約55万件が値上げの対象だ。標準的な家庭(30㉿、230㉿ワット時使用)では、現行の6402円から2696円上がって9098円になる。

値上げ申請は大手電力で5社目。平均値上げ幅は沖縄電40・93%、東北電32・94%、中国電31・33%、四国電が28・08%で、北陸電の45・84%は最大だ。ただ、同社は申請した規制料金原価の1㉿ワット時あたり35・38円は業界で安い方

だとしている。

同社は同日に問い合わせ専用ダイヤル(0120・012433)を設けた。
(大谷秀幸)

■新型コロナ 北陸3県の感染状況

(30日発表)	福井	石川	富山
新規感染者	1163	1362	1584
累計感染者	139539	200844	166603
重症者	0	1	1
死者	121(1)	320(0)	203(0)